

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【公開番号】特開 2001-170367 (P2001-170367A)

【公開日】平成 13 年 6 月 26 日 (2001.6.26)

【出願番号】特願 平 11-360028

【国際特許分類】

**A 6 3 G 31/04 (2006.01)**

**A 6 3 F 13/00 (2006.01)**

**A 6 3 G 31/00 (2006.01)**

**G 0 9 B 9/05 (2006.01)**

【 F I 】

A 6 3 G 31/04

A 6 3 F 13/00 J

A 6 3 G 31/00

G 0 9 B 9/05 F

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 左右に対をなした推進装置によって航行する模擬乗物を操縦するゲーム機であって、

前記左右に対をなした前記推進装置の推進力をそれぞれ制御する 1 対の推進力調節手段を備え、

該 1 対の推進力調節手段には、該推進力調節手段に加える操作力に対し抵抗力を与える抵抗手段が付設され、

該抵抗手段は、前記推進力調節手段の操作速度増減に対応して前記抵抗力が変化する流体粘性抵抗を利用した流体粘性減衰器であり、

前記 1 対の推進力調節手段を同時に同一方向へ操作した場合には、前記模擬乗物は加速または減速し、前記 1 対の推進力調節手段の内、いずれか一方の推進力調節手段を他の推進力調節手段の操作量と比べて小さくあるいは大きく操作した場合には、前記模擬乗物は一方または他方へ旋回することを特徴とするゲーム機。

【請求項 2】 前記 1 対の推進力調節手段を支持する支持部材を操作することにより、この操作に対応して前記模擬乗物を左右に横滑りさせるように構成したことを特徴とする請求項 1 記載のゲーム機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

【議題を解決するための手段および効果】

本出願の請求項 1 記載の発明は、左右に対をなした推進装置によって航行する模擬乗物を操縦するゲーム機であって、

前記左右に対をなした前記推進装置の推進力をそれぞれ制御する１対の推進力調節手段を備え、

該１対の推進力調節手段には、該推進力調節手段に加える操作力に対し抵抗力を与える抵抗手段が付設され、

該抵抗手段は、前記推進力調節手段の操作速度増減に対応して前記抵抗力が変化する流体粘性抵抗を利用した流体粘性減衰器であり、

前記１対の推進力調節手段を同時に同一方向へ操作した場合には、前記模擬乗物は加速または減速し、前記１対の推進力調節手段の内、いずれか一方の推進力調節手段を他の推進力調節手段の操作量と比べて小さくあるいは大きく操作した場合には、前記模擬乗物は一方または他方へ旋回することを特徴とするものである。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

また、該１対の推進力調節手段には、該推進力調節手段に加える操作力に対し抵抗力を与える抵抗手段が付設されているため、前記推進力調節手段に操作力を加えない限り該推進力調節手段を操作することができず、実物の操縦装置を操作したと同様な操縦感覚を操縦者に与えることができる。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

さらに、該抵抗手段は、前記推進力調節手段の操作速度増減に対応して前記抵抗力が変化するので、前記推進力調節手段を速く操作しようとする程、該推進力調節手段を操作するのに大きな操作力を必要とし、本物の操縦装置を操作した場合と同様な操縦感覚を操縦者は持つことができる。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

さらにまた、流体粘性抵抗を利用した流体粘性減衰器であるので、信頼性の高い抵抗手段を低コストで構成することができる。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 9】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 1 6  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 0】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 1 7  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 1】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 1 8  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 2】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 1 9  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 3】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 2 0  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 4】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 2 1  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 5】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 2 2  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 6】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 2 3  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 7】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 2 4  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 8】  
【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 5  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 9】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 2 6  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 0】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 2 7  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 1】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 2 8  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 2】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 2 9  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 3】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 3 0  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 4】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 3 1  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】